

尾上 小学生が育てた米を試食

平川市立金田小学校の5年生43人は2月5日、自分たちが栽培した「青天の霹靂」の試食を行いました。市販されている「青天の霹靂」と食べ比べ、味や食感、見た目の違いを確認しました。

米が炊き上がるまでの時間を使い、JAの営農指導員が精米までの工程、JAのカントリーエレベーターの仕組みなどを説明しました。

児童は「自分で育てたお米もおいしいけど、農家の方が作った方が味も食感も良かった。春からお米について勉強して、栽培する大変さが分かった」と話しました。



常盤 優良生産者9人を表彰

常盤ソサイ研究協議会（対馬伸吾会長）は2月12日、常盤やさしい花生産者大会を開き、会員やJA、市場関係者ら約70人が出席しました。

大会では表彰式が行われ、令和元年産の優良生産者として同協議会を構成するニンニク、アスパラガスなど6部会から選出された9人を表彰しました。1年を通して農産物や加工品を出荷し、直売所の売り上げに貢献したとして「ときわかあさんの店」の石澤節子さんが組合長賞を受賞しました。



石川 素敵な香りのアロマワックスサシェ作り

女性部石川支部（工藤美津江支部長）は2月22日、支店でアロマワックスサシェ体験を開き、女性部員10人が参加しました。

講師を務めたわたべじふあーむさんが作り方を説明。女性部員は、溶かした蠟に好きな香り（アロマオイル）を混ぜ込んだものを型の中に流し込み、たくさんのお花で飾りました。

参加した女性部員は「素敵な香りがしてとても癒される。見た目もおしゃれなので部屋に飾りたい」と話しました。



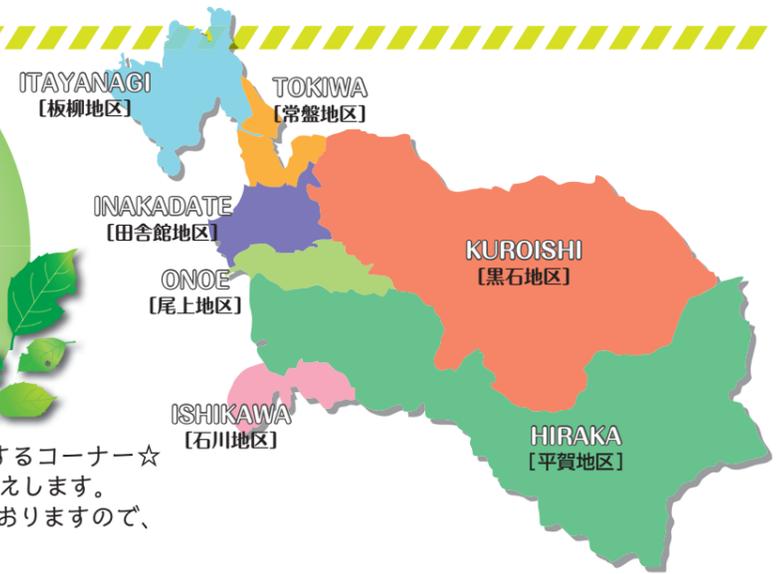
板柳 青年部主催のりんご剪定会

板柳地区青年部（山内貴人部長）は2月25日、同町柏木の田澤隆行さんの園地でりんごの剪定講習会を開きました。りんごを栽培する青年部員14人が参加。講師を務めた青森県剪定士の藤川健治さんが作業の実演を行い、部員は熱心に学びました。

山内部長は、「青年部主催という事もあり、気兼ねなく意見交換を行いながら剪定会が出来た。ここで学んだ事を自分の園地でも活かしていきたい」と話しました。



その名の通り、支店発信の情報を紹介するコーナー☆各支店の広報委員が、身近な出来事をお伝えします。皆さまからのホットな情報もお待ちしておりますので、最寄りの支店へご連絡ください。



黒石 パイプ役支部長97人に委嘱状交付

黒石基幹支店は2月25日、グリーンパレス松安閣で黒石地区支部長の委嘱状交付式を行い、約50人が出席しました。

交付式では、支部長を10年務めた盛昭悦さん（毛内）、津川浩則さん（高館一）、山口利文さん（赤坂二）、村上直樹さん（山派立）、村岡昭憲さん（中十川一）、工藤智彦さん（中十川二）の6人に感謝状が贈られました。

地域とJAのパイプ役として活躍する支部長97人に改めて感謝し、各地区の代表者に委嘱状を手渡ししました。



平賀 確定申告正しく

平賀青色申告会（長内義昭会長）は2月上旬から下旬にかけて、記帳相談会を実施しました。確定申告を正しく行うために毎年実施しています。JA職員らが会員一人ひとりに確定申告について説明し、決算書、確定申告書作成の補助を行いました。また、28日にはJA本店で定時総会が行われ、黒石税務署の職員が今後の確定申告の期日や注意点について説明しました。



田舎館 令和2年用りんご防除暦などを確認

田舎館地区個人防除組合（福士誠組合長）は2月18日、大鰐町の「四季の湯不二やホテル」で令和2年用防除暦説明会と元年度通常総会を開き、会員58人が出席しました。

防除暦説明会ではりんごの農薬取扱要領と令和2年用りんご防除暦について説明。通常総会では令和2年度事業計画書(案)など2議案が承認されました。終了後には懇親会が行われ、会員らは交流を深めました。

